



Department of Cardiovascular Medicine

TOHOKU UNIVERSITY HOSPITAL

# HEART



## 東北大学病院 循環器内科広報誌 【第19号】

発行/東北大学病院循環器内科 平成23年1月20日  
〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1  
Tel: (022) 717-7153 Fax: (022) 717-7156  
<http://www.cardio.med.tohoku.ac.jp/index.html>

### 循環器センターの設立と分野名の変更

東北大学病院循環器内科 下川宏明

明けましておめでとうございます。本年も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

東北大学病院の改革の一環としまして、平成23年度より**循環器センター**を設立することになりました。具体的には、現在西病棟3階にありますCCUを西病棟9階に移転し循環器内科と同じフロアにすることで診療の連続性を向上させるとともに、東9階にあります心臓血管外科と一体となってセンター化し運用することで効率を高めるのが目的です。また、東北大学病院を利用させていただく一般市民の方々にも分かりやすい体制になることを期待しています。挿管やその他の集中治療が必要な患者さんは、従来通り、西病棟3階のICUで診療することになっています。

また、平成23年度より、当科の大学院レベルにおける分野名を、従来の「循環器病態学分野」から「**循環器内科学分野**」に変更します。当科に私が赴任して6年目になり

ますが、私が目指す教室像は、心血管病の病態の解明だけではなく、新たな診断法・治療法の開発も含め、もっと多岐に及ぶとの思いがありました。また、循環器内科学(分野)の名称は一般市民にも分かりやすく身近に感じていただけたと思います。教授会でも承認され、4月1日より変更になります。病院での診療科名は従来通り「循環器内科」です。

さて、下記にご報告しておりますように、**2010年の当科の診療実績**も順調でした。患者さんのご紹介や当科退院後の通院加療等では大変お世話になりました。

また、2ページ目に報告しておりますように、**循環器内科病診連携ネットワーク**も徐々に認知度が増し、多くの先生に利用していただくようになってきました。今回は、実際に利用していただきました先生方の生の声をご紹介します。

本年も、教室員が力を合わせて診療に取り組んでいきたいと存じます。

ご支援・ご協力の程、何卒、宜しくお願い申し上げます。



### 「2010年(1~12月)の当科の臨床実績のご報告」

図1 カテーテル検査総数

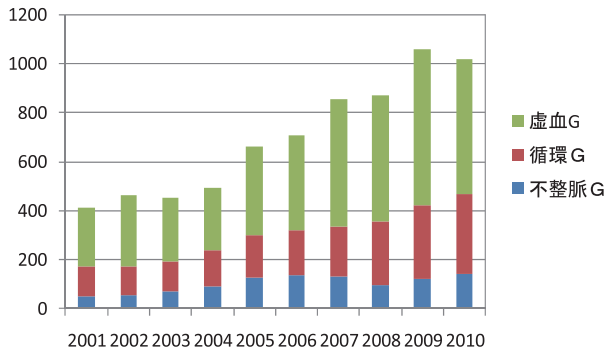
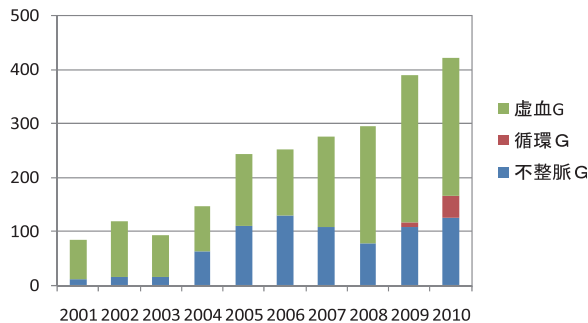


図2 インターベンション治療数

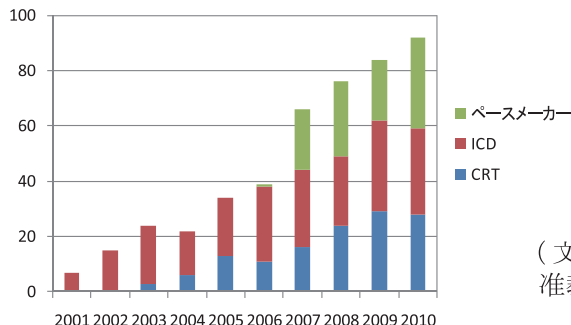


昨年一年間の当科の臨床実績をご報告します。**虚血・循環・不整脈の3診療グループともに順調に業績を伸ばしており(図1~3)、心臓カテーテル検査・治療の総数は1,110件となっています。**

冠動脈インターベンション(PCI)は大学の特性を生かして慢性閉塞性病変など難易度の高い病変にも積極的に施行しています。肺高血圧症に対する肺動脈インターベンションの施行件数は42件と著明に増加し、その有効性が明らかになりつつあります。また、新規に下肢動脈インターベンションを開始しました。今後症例を増加していく予定です。特筆すべきは心房細動を含めた高度な高周波アブレーション治療をルーチンに行っていることで、昨年は125例に対して施行して良好な結果を得ています。

また、下川教授の巻頭言にありますように、9階病棟に心臓外科と共同で**循環器センター**を開設し、これまで

図3 ペースメーカー・デバイス治療数



培われた緊密な地域連携を活かして更に高度な循環器医療を目指します。どうぞお気軽にご連絡ください。

(文責: 柴 信行、准教授・医局長)

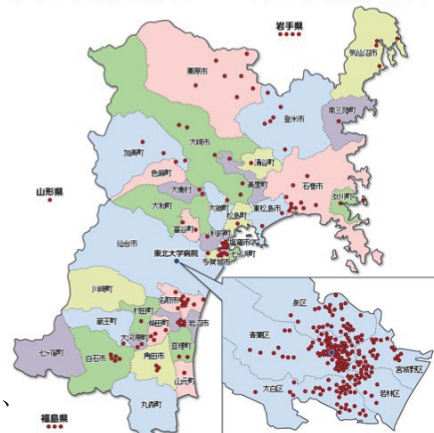
循環器内科急患ホットライン  
365日24時間対応致します!

080-28011810(ニイハオいいハート)

## 「東北大学循環器内科病診連携ネットワーク」の活用

2008年11月のハートホットライン(080-28011810:ニイハオいいいハート)開設以来2年以上が経過しました。その間にハートホットラインを通じて、関連病院や地方基幹病院の先生方から重症虚血性心疾患をはじめ重症心不全・重症不整脈・重症肺高血圧など、高度治療を必要とする多くの患者様を東北大学循環器内科にご紹介いただきました。2010年9月には地域の開業医の先生方とより密接な連携を図り、より多くの患者様に最先端医療を提供する目的で「東北大学循環器内科病診連携ネットワーク」を設立し、現在311施設にご参加いただいております(図)。この病診連携ネットワークにご参加いただいている開業医の先生方からも、ハートホットラインに急性冠症候群の患者様のご紹介や心臓病をお持ちの患者様のご相談をいただく機会が増えています。この場をお借りしてこれまでハートホットラインをご利用いただいた先生方に改めて御礼申し上げます。

東北大学病診連携ネットワーク参加医療機関分布図



さて、今後ハートホットラインをさらに活用し、東北大学循環器内科が地域医療にさらに貢献していくため、2010年にハートホットラインをご利用いただいた4名の先生方に「ハートホットラインを使用してのご感想・ご意見」をインタビューさせていただきました。今回はその先生方の生の声をご紹介します。

### インタビュー：ハートホットラインを使用してのご感想・ご意見(掲載許可取得済み)

齋藤 親弘先生 (齋藤内科医院、仙台市青葉区)

今回(2010年11月)、初めてハートホットラインを使用して急性心筋梗塞症例を大学病院に紹介しました。これまでは正直なところ大学病院は敷居が高い印象があり急患は受け入れてもらえないと思っていました。また、これまでの大学病院は担当医に連絡がつくまで煩雑で時間がかかっていたので、急性心筋梗塞などの緊急性がある症例は他の病院にお願いすることが多かったです。しかし、今回、非常にスムーズに事が運び、患者さんの命を助けていただき、とても有難く感じています。これを機会に今後もハートホットラインを活用したいと思います。

山根 由理子先生 (生出診療所、仙台市太白区)

基本的に緊急性の無い患者様は、大学病院循環器内科の新患外来に紹介状を持たせ後日受診していただき、緊急性がある患者様のみをハートホットラインを通じてお願いするようにしています。ハートホットラインがあることによって、常に大学病院という後ろ盾があるという安心感が得られています。心疾患が合併している患者様は他院に紹介しても受け入れてもらえない場合も度々あるのですが、そのような患者様もハートホットラインを通じて、様々な専門医が揃う大学病院に引き受けてもらえるので大変助かっています。

小田 浩司先生 (しょうげん内科クリニック、仙台市泉区)

昨年ハートホットラインで紹介した患者様は、胸部大動脈瘤の手術既往がある方で、胸腹部痛を訴えていました。疼痛部が胸腹部全体に及んでいたため、臓器別診療科に分かれて縦割り型システムの大学病院には紹介しにくいと思ったのですが、ハートホットラインに依頼したところ、意外にも速やかに引き受けてくれました。後日その患者様から伺った話では、循環器内科入院後すぐに造影CTを行い胆石胆嚢炎が疑われたので、翌日には消化器内科に紹介転科となり消化器専門医の治療を受けたとのことでした。ハートホットラインを通じて東北大学病院の総合診療力を利用することが可能で、大変有用であると思いました。

小田倉 弘典先生 (土橋内科医院、仙台市青葉区)

ハートホットラインは正直、大変重宝しています。何より、電話1本で、循環器専門医に直接つながるので、安心、信頼感を持って患者さんをご紹介することができるというのが実感です。これまで、大学病院に紹介するときは、どこに電話してよいかもわからず、電話がつながっても大変時間がかかることがありましたが、ハートホットライン設置後は、そのような心配は全くなりしました。研究、教育にも携わらねばならない大学の先生方が、このように心臓救急に積極的に取り組んでおられるという点も、非常に評価されるべきことだと思います。病院によっては、ナースのみが対応するところもありますが、専門医と直接話ができるので、例えば、送るべきか否か迷うような症例の時でも、その適応も含めてご相談できます。また、お配りいただいたステッカーは、診察室の机や壁に貼ってすぐ見えるようになっており、色も目につきやすく、あれはヒットだと思います。改善すべき点としては、患者さんから電話で胸痛の相談があった時にハートホットラインを利用して大学病院に引き受けてもらったのですが、紹介状をFAXで送ろうとしましたがFAX番号がわかりませんでした。FAX連絡先等もご教示いただければ助かります。

インタビューにお答えいただいた4名の先生方、お忙しいところ誠にありがとうございました。概ねハートホットラインは好評のうちに活用いただいているようで安堵いたしました。小田倉先生からご指摘いただいたFAX番号(022-717-7156、下記)については、今後ステッカーへの記載等を検討し、周知いただけるように工夫いたします。貴重なご意見を賜り感謝しております。(文責：高橋 潤、虚血グループ主任、院内講師)

東北大学循環器内科では肺高血圧症の治療発展のため様々な治験を行っています。  
長時間作用型の経口Rhoキナーゼ阻害薬  
可溶性グアニル酸シクラーゼ刺激薬  
また肺動脈血栓症による肺高血圧のバルーン拡張術も行っています。  
患者様のご紹介をお願いいたします。

### 東北大学循環器内科連絡先(直通)

医局：022-717-7153

FAX：022-717-7156

外来：022-717-7728

病棟：022-717-7786

患者さんのご紹介・ご相談にご活用下さい。  
緊急の対応は日中は外来医長が、時間外は日当直医(病棟)が対応いたします。  
本季刊紙「HEART」に関するご意見・ご質問は下記のメールアドレス、当科HPまで。

kikanshi@cardio.med.tohoku.ac.jp

<http://www.cardio.med.tohoku.ac.jp/index.html>

循環器内科急患ホットライン  
24時間対応致します!

080-28011810(ニイハオいいいハート)